

■ Advance to the Future

株主のみなさまへ

第62期
株主通信

2021年12月21日 ▶ 2022年12月20日



太洋工業株式会社

証券コード：6663

磨き上げてきた技術を強みとして、得意とする市場で商機の獲得に注力してまいります。

電子基板事業は堅調に推移した一方、テストシステム事業で苦戦

主力の電子基板事業は堅調に推移し、増収・増益となりました。FPC(フレキシブルプリント配線板)の試作案件に加えて、数年にわたり市場の開拓に努めてきました産業機器や医療機器向けの量産案件の受注増が業績に寄与しました。特筆すべき点としては、米国の医療機器市場において、量産を見据えたカテーテル向けFPCの試作案件の受注実績が着実に積み上げられたことが挙げられます。

一方、テストシステム事業は、国内外のメーカー各社が設備投資を抑えたことを背景に、通電検査機や外観検査機の販売が半減したことから、減収・損失計上となりました。このほか、鏡面研磨機事業は、リチウムイオン電池用等のフィルム加工向け大型研磨機が販売できたことから、増収・黒字転換となりました。産機システム事業は、前年度

の大型設備案件の反動減により、減収・損失計上となりました。この結果、2022年12月期の業績は前期比7.5%の減収、親会社株主に帰属する当期純利益は同83.5%の減益となりました。

主力事業で自社の強みを発揮して、収益機会の拡大を図る

電子基板事業のさらなる業績拡大に向けては、高難度FPCの販路をさらに拡大することで、収益性の高い事業への転換を進めていきます。また、新たに高精度全自動銅めっきラインや微細パターン現像/エッチングラインを導入するなど、高難度FPCの試作、小中ロット量産に向けた生産体制の拡充を図っているところです。

テストシステム事業に関しては、新たに開発した半導体パッケージ基板やパワー半導体向けの外観検査システムの拡販に注力していきます。新たに開発した外観検査システムは高精細、高分解能

への対応に優れているほか、AI(人工知能)技術を駆使した高い検査精度を保持しています。パワー半導体向けの高精度な検査機は競合が少ないことから、差別化した製品を投入することでニッチな領域でトップクラスのポジションの獲得を狙っています。2023年度を「パワー半導体元年」と位置づけ、営業活動に力を注いでまいります。

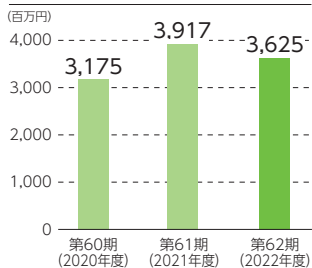
収益性の高い製品の拡販を通じて、業績のさらなる向上をめざす

産機システム事業では、生産ラインの自動化ニーズへの対応に努めていきます。ニーズの中には外観検査の自動化や次工程との連携があることから、テストシステム事業とのシナジーを追求しつつ、当社でしかできないソリューションの提案を通じて、事業機会の拡大を図っていきます。

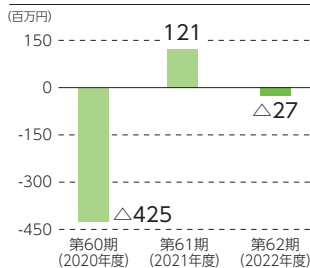
2023年12月期の業績見通しは、電子基板事業を中心として売上の増加を見込んでおります。一方、収益については、人件費や設備投資による減価償却費の増加を想定していることから、増収・減益を見込んでいます。引き続き株主の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

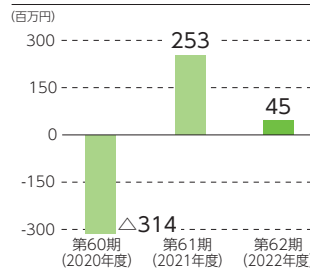
売上高



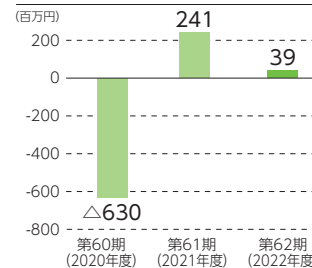
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



代表取締役社長

江 美則



鏡面研磨機事業にて新たな用途を開拓

近年、世界市場で自動車の電動化が急速に進む中、鏡面研磨機においてリチウムイオン電池用のセパレータフィルムの製造に用いられる、めっきロールの表面を研磨する用途を開拓いたしました。



当社主力モデル
1HSB-6000

「エレクトロテスト ジャパン」に出展

新たに開発したパワー半導体等の外観検査システムを展示いたしました。高分解能への対応をはじめ、独自開発のAI技術により従来の画像処理技術では検出できなかった欠陥の検出や虚報の低減、高精度な検査と目視確認の省力化を実現しています。



当社ブース



TY-VISION A308DC

報告セグメントの変更について

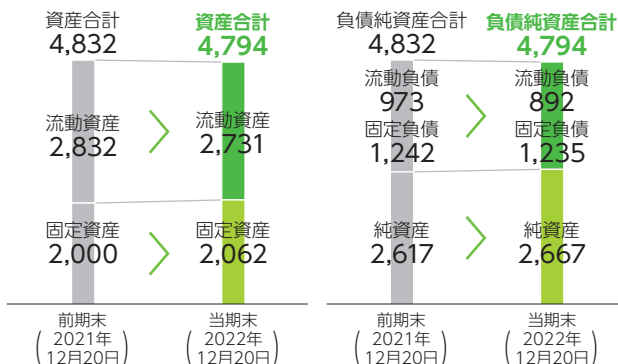
「テストシステム事業」に含まれていた検査システム事業については「産機システム事業」に含めて記載する方法に変更しております。

第63期(2023年度)連結業績予想

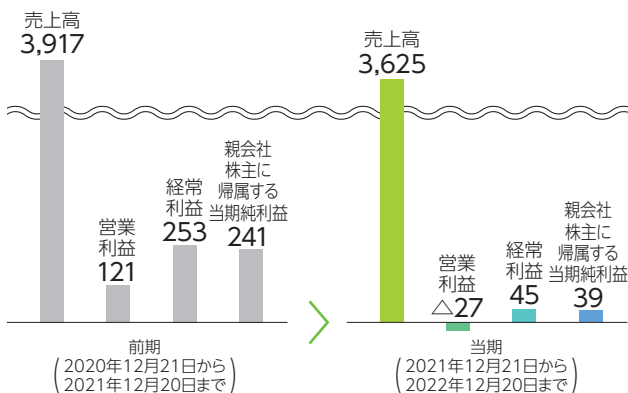
売上高	41億44百万円	(前年同期比 14.3%増)
営業利益	41百万円	(前年同期は △27百万円)
経常利益	37百万円	(前年同期比 18.8%減)
親会社株主に帰属 する当期純利益	23百万円	(前年同期比 40.3%減)

連結財務諸表

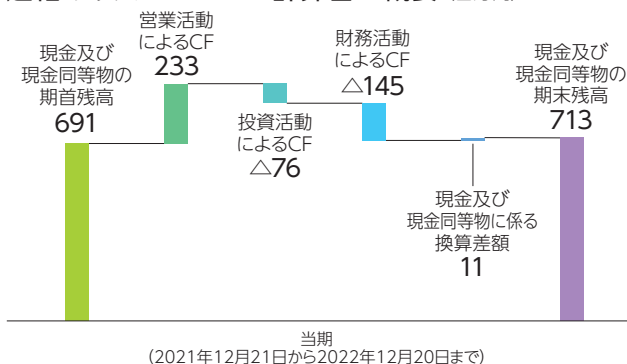
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



会社概要

(2022年12月20日現在)

社名	太洋工業株式会社
設立	1960年12月
代表者	代表取締役社長 細江 美則
資本金	815,198,600円
従業員	234名(連結ベース)
関連グループ会社	株式会社ミラック TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO.,LTD. 太友(上海)貿易有限公司

(注) 当社は、2021年12月21日付でマイクロエンジニアリング株式会社を吸収合併いたしました。

役員

(2023年3月17日現在)

代表取締役社長	細江 美則
取締役	清原 旭
取締役	田中 清孝
取締役	水谷 浩
取締役	上西 令子
常勤監査役	崎前 和夫
監査役	和中 修二
監査役	中川 利彦

株式の概要

株式の状況

(2022年12月20日現在)

発行可能株式総数	23,280,000株
発行済株式の総数	5,951,600株
株主数	2,738名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	26.91
細江 美則	520	8.76
細江 正大	480	8.07
紀陽興産株式会社	290	4.88
太洋工業従業員持株会	191	3.22
株式会社紀陽銀行	190	3.20
小川 由晃	144	2.43
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	69	1.16
堀井 勝人	67	1.14
楽天証券株式会社	57	0.97
	3,611	60.74

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第三位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年12月21日から翌年12月20日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月20日
中間配当金受領株主確定日	毎年 6月20日
定時株主総会	毎年 3月20日まで
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL(0120)094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード6663)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.taiyo-tx.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469

